



<経営理念>

- 一、缶パーツとその関連技術を通じて、缶の社会貢献を全面的に支援しよう
- 一、一人一人の持つすべての能力を、共にベストの形で花開かせよう
- 一、現場で現物を見て現実を把握し、原理原則にのっとって対処しよう
- 一、お客様と我々自身に還元するために、一切のムリ・ムダ・ムラを無くして最大の利益を追求しよう
- 一、国内外を問わず、自らの可能性を追求し、仕事を通じて社会に貢献しよう

9月迄業績	計画	実績	差異	%	昨年比	%	12月迄成り行き	昨年度実績
売上	306,154	293,703	-12,451	95.9%	3,735	101.2%	395,802万円	393,179万円
営業利益	9,168	9,536	368	104.0	-3,363	73.9	9,882(2.50%)	17,956(4.57%)

<売上好調にて営業利益も黒字確保

／営業による値上げ効果も期待>

今年も早いもので10月に入りました。例年の通り台風影響が心配されましたが、今年は予報はあれど結果的には大きな被害には繋がっておらず、このままシーズンを終えて欲しいところです。

さて、9月の実績を皆さんと共有したいと思います。まず売上ですが市況低迷が顕著で、計画していた大型設備販売も後ろにずれる等で対計画-5,745万円となりました。それでも、営業利益は計画に及ばなかったもののプラス749万円。この厳しい状況下で黒字を確保できたことは大きいと思います。具体的には経費全体が計画対比でマイナス396万円(1~9月までの累計ではマイナス4,423万円!)となっており、大きく貢献してくれました。今年は主原料のブリキ材が値上がっており、すでに当社も負担が始まっていますが、その分の販売値上げ(価格転嫁)も営業の頑張りで終えています。10月からは本格的にその効果が期待できますので、年度末(12月)へのラストスパートに繋げていきます。

【全社品質目標の達成状況】

安全第一 労災事故0件：9月末時点で千葉にて31日間、大阪にて0日間、労災事故ゼロ継続中。9/30、大阪にて通勤中に自転車で転倒し怪我を負う事故発生。幸い軽傷。

品質クレーム：全社年間22件以内の目標に対し、累計で19件。今月発生は千葉社外1件、大阪社外1件。年間目標22件以内はまだ諦めずに予防措置に取り組みましょう。

<人を生かす経営>(3)

【1】独立自尊(3)

(2)自分を決して貶(おとし)めない

自分を卑下するなかれ

本来、志を立ててその実現のために前向きに努力することができるはずなのに、その流れを妨げているものがあります。その筆頭が「自己卑下」のマインド。「どうせオレなんか」「どうせ私なんか」という考え方です。これは次の二つの理由で絶対的に避けなければなりません。

1)ダメだと思い続けていたら、確実にダメになる

「自分は何をやってもダメだ」などと思い続けていたら、「心で思ったことは必ず実現する」訳ですので、ずーっとダメな人生を送ることになります。

まして、そのマイナスの思いを口に出して言い続けていた場合には、よく言霊という言い方もするように、確実にその言葉の通りの悲惨な人生が展開してきます。

ですので、そうした思いや言葉が浮かんで来たら、直ちに打ち消してください。そして「いまはダメでも、必ず出来るようになる」「もっとチャンとした自分になれる」「必ず、より素晴らしい自分になる」と決意を新たにしましょう。

2)努力しない自分を正当化してしまう

もう一つは、「どうせ頑張ってもダメなんだから…」として、努力しないことを自分の中で正当化してしまうことです。自分の気持ちの中で妙に収まりがいいのかもしれませんが、努力を怠っているわけですから、良い方向へ向かうことはあり得ません。どんな悲惨な人生が待っていようと「自業自得」ということになってしま

9月単月 単位:万円	売上		営業利益		営業利益累計	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
東 営	22,194	19,908	604	927	4,714	6,942
千 工	20,705	19,703	612	184	4,276	3,433
大 営	15,494	12,035	278	311	739	1,611
大 工	12,558	9,683	-192	-674	-561	-2,450
全 社	37,688	31,943	1,302	749	9,168	9,536

納期遅れ：なし

コストダウン：9月計画437万円 ⇒ 実績469万円

(107%・累計126%)

新規品売上：9月計画894万円 ⇒ 実績1,148万円

(128%・累計115%)

<新型コロナに対する当社方針について>

新型コロナ感染症が落ち着いてきており、ゴルフコンペ、出張、少人数会食、食堂への集合(昼礼等)、など随時再開しています。10月8日は大阪の社内ゴルフコンペを開催しました。主に仕先様とご一緒するのですが、3年振りにゆっくりお話する方も多く、このような機会を3年間も奪われていたと思うと、とても長く感じました。もちろん、基本的な感染対策は今後も継続し、出社可否のルールも変わりありません。今後も健康・安全第一を前提に、不安なく皆さんが業務でできるよう努めてまいります。

10/24 廣瀨 庄一郎

います。私たちには「自ら変わる力がある」ことを、忘れないようにしましょう。

自ら道を切り拓いていこう

自分が専務になったころ、人前でスピーチをする場面が増えることを想定して話し方教室に通っていたことがあります。たまたま休んだ講義の振替で別の教室に行った時、大変感銘を受けたことがありました。講義が始まる前から、教壇に立ってスピーチの練習をしている若者がいました。つかえてばかりいて、決してうまくはないので、「ああ、一所懸命練習しているんだな」と思って見ていました。

講義の中では、一人ひとりが必ず三分間スピーチをします。その人の番になって、話を始めるのですが、最初の挨拶「皆さん、こんにちは」の「み」が、息を吸い込んだり出でこない。30秒ぐらいたって、ようやく「皆さん！」と言葉が出てくるのです。いわゆる吃音のひどい状況でした。そんな状態だから、用意していた話の十分の一も話せずに三分間が終わりました。

一人ひとりのスピーチには先生が必ずコメントします。「何てコメントするんだろう」と興味津々に聞いていたら「すごく良くなりました！」とのこと。最初はどんなだったんだ!

その若者のことを心から素晴らしいと感じました。こんなひどい吃音では自分の人生を開くことは出来ない。恥ずかしくない訳はないけど、自分をさらけ出して、講義前にもみんなの前で練習して…。と自らを奮い立ててその場に臨んでいるのです。凄い!と思いました。

どのような環境にあっても、それを理由にして自らを高めるための努力を怠ってはならない、より素晴らしい自分になるための道は、自ら切り開いていかなければならないと心から思った瞬間でした。

10/24 廣瀨 泰久